

次世代経営者錬成講座開設趣旨

今や全世界が実質的に自由主義経済化し、企業間競争は世界規模で行われるようになりました。国内だけに目を向けても、人口減少により、今までと同じやり方をしているだけでは売上が減少することは確実です。一方、少子化の影響を受け、人手不足が深刻化するとともに、コストとしての人件費は確実に上昇していきます。更には、通信やAIを中心とした技術革新はビジネスのカタチそのものを変えてきています。

このような環境の中で日本企業はどのように戦っていけばよいのでしょうか。そして、経営者はどのようにして自社が存続発展していくための道筋を組み立て、そして社員に示していけばよいのでしょうか？

また、東芝、日産、神戸製鋼、ダイハツと、近年、「一流」と言われていた企業において、不祥事が次々と明るみにできています。なぜ、このような事が起きるのでしょうか。そして、経営者はどうすればこのような不祥事が起きない企業風土を作り上げることができるのでしょうか？

旧慣墨守の経営では時代の急展開の前に取り残されることは必至です。社会の公器として、小手先の利益創出手段に頼ることなく、これからの時代に向け飛躍しうる革新的経営をいかに実現するかが問われているのです。そして、この問いに答えるか否かは、経営の任にあたる経営トップ陣の情熱と能力のいかんにかかっていることは言うまでもありません。正に、「一人に以て国は興り、一人に以て国は滅ぶ」のです。

また、経営の「存続」を考えると、最も根本的な課題は次世代の経営幹部を着実に育成していくことにあります。

しかし、現実はというと、次世代の経営幹部であるはずの部長クラスに対して、以下のような声が現経営陣や部下の社員から聞こえてきます。

- ・課長から部長になり、直接的な部下指導は課長が担う中、自身の役割が見いだせず、単なる中間管理職になってしまっている。
- ・革新が求められているにも関わらず、現状延長線上の施策しか打ち出せず、短期業績の進捗管理しかできていない。
- ・経営から出される方針には特に反対はしないものの、実際の部門運営に落とし込めていない。

この「次世代経営者錬成講座」では、上記認識の下に、異業種人材との磨き合いの中で、

- ・経営人材として不可欠な知見である「企業環境の見方」「発展成長の考え方」「社会の公器としての判断基準のあり方」「経営幹部としての職務観」を自社や自分自身に落とし込んで検討し、
 - ・自社・自部門のあり方と現状課題、自らのリーダーとしての強み弱みを明確にし、
 - ・経営幹部候補者としての自らの「志」を固めるとともに、「志」実現に向けた具体的道筋を掴む、
- ことを狙いとしています。

貴社より、これからの経営幹部たることを期待される候補者を御派遣いただき研修の成果をあげ、貴社の経営革新と戦闘力強化並びに次世代経営への着実な移行準備のお役に立てば幸いです。

2024年 次世代経営者錬成講座実施要領

株式会社日本経営開発研究所

1. 参加対象
 - a 現に部長職以上であり、将来の経営陣として期待されている方またはそれに準ずる方
 - b 原則として年齢40歳～60歳（45歳～55歳位が一番望ましい）
※但し、以上を充足しなくても、当方で参加資格を認定した方は受け付けます。

2. 日 程 2024年9月13日（金）～17日（火）（別途6カ月間のコーチングセッションを実施）

3. 開催場所

山形県上山市 蔵王坊平高原 ライザ・ウッドイロッジ
<http://www.zaoliza.co.jp/smmr/access/>

4. 定 員 12人

5. 参加料 318,000円（消費税別）
※5日間の集合研修および6カ月間のコーチングセッション、資料代等を含む

6. 参加手続 e-mailにて参加申込人数をご連絡ください〔申込確定締切り：8月9日（金）〕
※その後、参加者リストフォームを送付させていただきます

次世代経営者錬成講座 基本プログラム

集合研修前	事前課題 担当組織に関する現状分析・価値観に関するアセスメント・自分史作成		
	午 前	午 後	夜
第1日 (金)	昼 集 合	オリエンテーション講義 「これからの日本の 経営幹部のあり方」 講義・MDP 「これからの企業環境、 これからの世界・日本」①	グループ ディスカッション 「これからの日本の 経営のあり方」
第2日 (土)	グループ ディスカッション全体討議 発表・質疑・コメント 講義・MDP 「これからの企業環境、 これからの世界・日本」②	講義・演習 「経営数字の見方と 『投資』の考え方」 グループ ディスカッション 「倒産ケーススタディー」	グループ ディスカッション 「各社の経営環境と 経営方針のあり方」
第3日 (日)	グループ ディスカッション全体討議 発表・質疑・コメント 講義・MDP 「トップマネジメントと ミドルマネジメントの違い」	講義・MDP 「経営幹部としての 意思決定のあり方」 講義・演習 「目指すべき経営幹部像とは」	グループ ディスカッション 「担当部門の現状と課題」
第4日 (月)	グループ ディスカッション全体討議 発表・質疑・コメント 講義・演習 「経営幹部としての 心の置き方」	講義・演習 「経営幹部としての 自分のあり方」 講義 「経営幹部としての 能力向上法」	論文作成 「次世代経営者として 如何に生きるか」 目標設定 「一流経営者に向けた 6ヵ月後のありたい姿」
第5日 (火)	論文発表 質疑・コメント 終講式 終了スピーチ・終了講義	昼 解 散	

※MDP（経営能力開発プログラム）は、受講生が「何故そういえるか」を徹底思考し、責任ある見解を導けるように、弊所が創案し 50 年以上の実施経験をもつ教育方式です

(注－1) プログラムの一部を変更する場合がありますので、ご了承下さい

(注－2) 5日間の集合研修期間中の1日の基本的な流れは以下のとおりです

午前6時30分～	7時30分	体操・ランニング（初日を除き毎日実施）
午前9時00分～	12時00分	午前の講義
午後1時00分～	5時00分	午後の講義
午後7時00分～		夜の課業

<p>集合研修後 6ヵ月間</p>	<p><u>コーチングセッション</u></p> <p>合宿研修で設定した「6ヵ月後のありたい姿」をテーマに、月1回、6ヵ月間にわたりコーチングセッション（1回60分）を行い、目標達成や行動の習慣化のためのフォローアップを行います。</p> <p>セッションは原則、Zoomで行います。</p> <p>セッション時以外でも、コーチングのテーマに関してはメールによる相談対応を行います。</p>
-----------------------	--

(注－3) コーチングセッションの日時は、受講生本人と調整して決定します(予定変更の相談には応じています)

以上